

議会だより

2017年

臨時号

No.22

<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>





市内26カ所で開催!!

5月11日から6月1日まで、市内26カ所で議会報告会を開催しました。議会報告会は、三豊市議会基本条例の大きな柱である「市民に開かれた議会」を目指し、平成25年から開催しているものです。報告会では、3月定例会で審議した29年度予算を中心に議員から報告をした後、参加者の皆さまからのご質問やご意見を伺いました。

市民に開かれた議会

議会報告会



今年は、526人の市民の皆さまにご参加いただきました。貴重なご意見をありがとうございました。



議会報告会 実施状況

.....526人参加

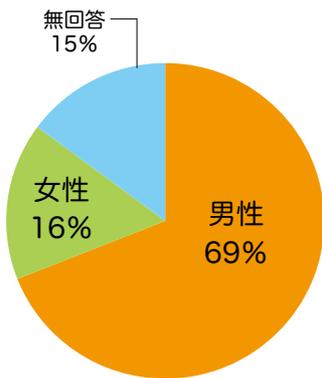
町	日 (5月)	時	開催場所	参加者数 (人)	出席議員
高瀬町	11日(木)	19:30~	上高瀬公民館	21	為広 員史 近藤 久志 藤原 借 鴨田 勢三 石井
	13日(土)	19:30~	勝間公民館	20	
	15日(月)	19:30~	比地二公民館	47	
	22日(月)	19:30~	二ノ宮農業構造改善センター	22	
	23日(火)	19:30~	麻公民館	11	
山本町	11日(木)	19:30~	河内農村婦人の家	11	金子 辰男 川北 善伴 大平 敏弘 丸戸 研二
	12日(金)	19:30~	辻公民館	14	
	15日(月)	19:30~	神田定住促進センター	8	
	16日(火)	19:30~	財田大野農業構造改善センター	19	
三野町	14日(日)	19:00~	吉津公民館	23	三木 秀樹 岩田 秀樹 詫間 政司 水本 真奈美
	20日(土)	19:00~	大見公民館	14	
	28日(日)	19:00~	三野町社会福祉センター	18	

町	日 (5月)	時	開催場所	参加者数 (人)	出席議員
豊中町	11日(木)	19:00~	豊中町公民館笠田分館	9	瀧本 文子 三宅 静雄 香川 努 込山 文吉
	12日(金)	19:00~	豊中町公民館本山分館	14	
	15日(月)	19:00~	豊中町公民館桑山分館	24	
	17日(水)	19:00~	上高野文化センター	15	
	18日(木)	19:00~	豊中町公民館比地大分館	26	
詫間町	20日(土)	14:00~	粟島開発総合センター	7	宝城 明 西山 彰人 浜口 恭行 市川 洋介
	25日(木)	19:00~	荘内浦島出張所	6	
	29日(月)	19:00~	マリンウェーブ	37	
	30日(火)	19:00~	松崎コミュニティセンター	29	
	6月1日(水)	19:00~	箱浦ビクターハウス	20	
仁尾町	23日(火)	19:00~	仁尾町文化会館	53	三木 秀樹 岩田 秀樹 詫間 政司 水本 真奈美
	27日(土)	19:00~	曾保小学校体育館	32	
財田町	22日(月)	19:30~	川上総合センター	7	金子 辰男 川北 善伴 大平 敏弘 丸戸 研二
	23日(火)	19:30~	財田町公民館	19	

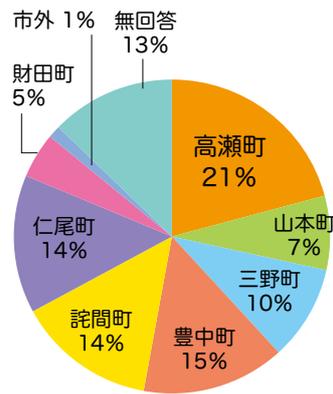
アンケート集計結果

報告会には526人の方にご参加いただき、471人にアンケート回答をいただきました。

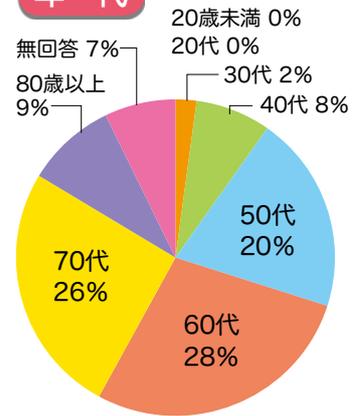
性別



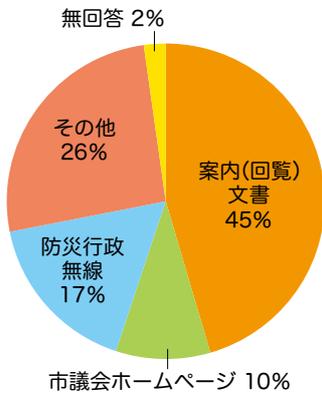
住まい



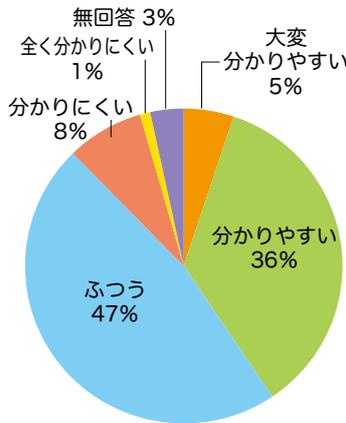
年代



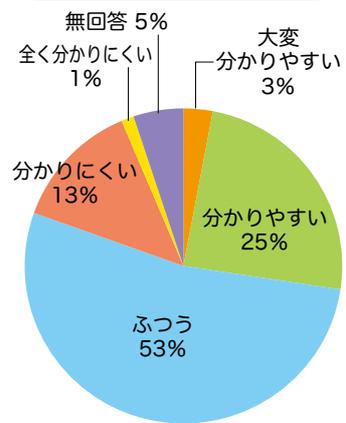
報告会の開催をどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)



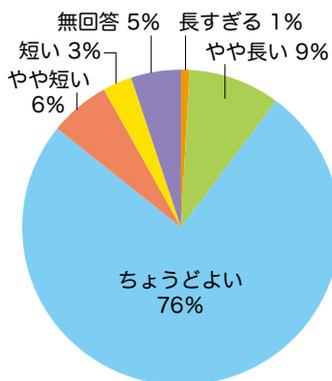
内容はどうか。



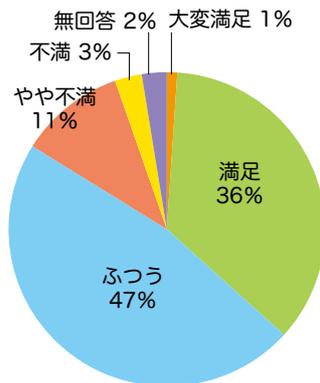
資料はどうか。



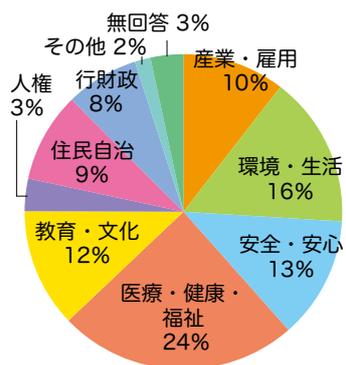
報告会の時間はどうか。



本日の報告会全体としての満足度はどうか。



現在、どのようなことに関心がありますか。(複数回答有)



質疑 応答

皆さまからいただいた質疑応答を抜粋したもののほか、報告会当日に回答できなかった質問等についての調査結果を報告いたします。

報告は、所管の各常任委員会ごとに、掲載しています。

なお、ほかの質疑応答についても、市議会ホームページでご紹介しています。

総務教育常任委員会

●行政改革について

問 市長が、広報で460ある施設が財政を圧迫すると言っているが、何も答えが出ていない。今後どうするのか。

答 公共施設の再配置について調査・検討するため特別委員会をつくった。23年度の公共施設再配置計画策定時の概要調査では466施設で

議会報告会は どんな目的で 開いているの？

- ・議会が議決した事項を、地域に出向き、市民の皆さまに直接、報告・説明を行うこと。
- ・その上で、市民の皆さまのご意見やご要望を参考に、監視機能の強化や、政策提言に取り組むこと。

あったが、それ以降の増減を含め、現在では436施設となっている。
市民活動に直結している施設が多く、難問題だが、少しずつでも進めていく必要がある。

●公共施設について

問 統合後の旧小学校の跡地利用はどうしているのか。ハコものには耐用年数もあるがどうするのか。

答 財田上については民間企業2社が進出し、イチゴ園と木のおもちゃ製造を行っている。財田中については、新猪ノ鼻トンネル工事の現場事務所として使用している。河内については、地元の皆さんが力を合わせ

て株式会社を設立し、事業拠点として活用している。

大野については「こども園」建設予定地としており、神田は地元建設会社が本社機能や研修所として使用予定であり、辻についても、福祉関係を中心に活用している。

●人口減少対策について

問 人口減少に対し、何か諦め感を感じる。さまざまな施策にしっかりと取り組んでほしい。

答 今や、人口減少や少子高齢化については、最も大きな課題となっている。その一環として、本年度から幼稚園の保育料を無料化し、保育所

の保育料についても県内で一番低くなるよう措置した。

しかし、一朝一夕に結果が出るような施策ではなく、気の長い取り組みが必要である。

今後とも、総合的、全市的な施策として積極的に取り組むこととしており、議会としても全力で対応したいと考えている。



▲幼稚園保育料無料化、保育所保育料の減額

●地域商社について

問 地域商社とは何か。農産物なども取り扱うのか。

答 品質は優秀でも埋もれている商品が多い。これらを発掘し、売りさばくことにより特産物化するのが大きな目的である。もちろん、農産物や農産物の加工品についても可能性にチャレンジする施策である。

品が多い。これらを発掘し、売りさばくことにより特産物化するのが大きな目的である。もちろん、農産物や農産物の加工品についても可能性にチャレンジする施策である。



▲CUO就任会見と事業説明会

●地域振興について

問 讃岐造船跡地での水族館計画が中止となったが、詳細を説明していただきたい。

答 水族館整備に市はお金を出さずに、1億円で購入した土地を無償で貸し付ける方式でこの計画は始まった。

た。

投資総額は約20億円、20年間で年間20万人が入館すると採算が取れるという計画だった。広く民間に対して事業者を募集したところ、応募が無かったため事業を中止した。

問 水族館計画が中止となったが、跡地利用をどうするのか。

答 今後は、水族館を必置要件とせず、広く民間投資を求めていくことになる。水族館の公募の際、おもしろい提案も受けているので、立地にふさわしい投資が行われるよう取り組んでいくことになる。



▲讃岐造船跡地

●公共料金について

問 公共施設の使用料を徴収する案が出ているが、利用者の意識としては、総論は理解できても活動の維持と運用のタイミングについてどう考えているのか。

答 考え方は示されているが、議会としてもまだ議論は始まっていない。ただ、同一施設であっても使用料がばらばらという現実はある。

まずは、公共料金の公平性について調整しなければならず、条例の見直しが必要。なお、使用料の徴収という運用については、十二分な議論と市民の理解が必要である。今後とも、市民の声を聴く機会の確保と市民説明について、丁寧な対応が必要である。

●コミュニティバスについて

問 観音寺のバスはバス停以外でも止まってくれるが、三豊のバスはバス停以外では止まらない。もっと柔軟な対応ができないか。

答 できるだけ運行時間に忠実にするための措置と思うが、高齢者や足の不自由な方、また、雨の日や寒い

日などはバス停まで歩くことやバス停で長く待つことは苦痛かもしれない。議会として議論していく。

●産業振興について

問 企業誘致はどうなっているのか。

答 ささまざまな企業との接触はしているが、なかなか結論の出にくい課題である。しかし、若者の地域定着は大きな課題であり、安心して働くことができる場の確保については継続して取り組まなくてはならない。議会としても、執行部と力を合わせて、全力で取り組みたい。

●学校再編について

問 学校ICT事業について、子ども心の発育などについてどのような期待感を持っているのか。

答 2020年から始まる教育改革について、地方自治の役割が不明瞭、あるいは地方教育行政に任せきりという感がある。ご意見として承りたい。

※ICT…Information and Communication Technology(略)。情報や通信に関する科学技術の総称。

●社会教育について

問 行政バスの利用申請を行ったところ断られたと聞く。利用する団体もある中、どのような条件であれば利用できるのか。

答 行政バスの利用については、各種団体よりたくさん利用申し込みが出ており、利用条件のハードルを上げたものと思う。不公平を考えるとあまり、型にはまった運用を行っているものと思う。

●図書館について

問 図書館は7館残してほしい。身近で利用しやすいメリットがある。



▲図書館基本計画策定のためのワークショップ

中学生が利用しやすいような図書館づくりを願いたい。

答 図書館を統合する話は出ていない。本年度は「図書館基本計画」の策定を予定しており、市民の声を取り入れる。ワークショップも計画している。中学生も安心して利用できる環境は必要だと思う。

※ワークショップ…さまざまな立場の人が集まって自由に意見を出し合い、意見や提案をまとめあげていく方法。

建設経済常任委員会

●農業振興について

問 農家はどんどんなくなっていく。農地の転用をもっと加速するとかやらないと、いけない。三豊市は、あくまで市民のためにあるのであって、県や国の制度を、もっと前向きに、時代に合うように変えていってほしい。

答 三豊市では市民のために、国の制度を利用してさまざまな施策を行っている。農地の転用については三豊市で何が出来るのか検討したい。

問 JAと三豊市は、タイアップをしっかりとしてほしい。

答 市は担い手協議会で検討し、補助事業も活用してバックアップしているが、委員会でも十分に議論する。

問 多面的事業は、事務量が多くて農業者ではできない。支払いの制度を広げてほしい。

答 三野町などでは、組織を統合して効率的に事務処理している。担当課に相談してほしい。また、交付金で事務処理に係る人件費や消耗品費、設備費も賄うことができる。国の制度なので、国、県に働きかけていく。



▲対策が求められている耕作放棄地

●耕作放棄地の対策について

問 耕作放棄地の対策について。

答 補助事業等も活用し取り組んでいる。なお、耕作放棄地の対策については委員会としても重要課題として取り組んでいる。

問 農業も耕作放棄地が多く、また漁業も魚が少なくなっている。

答 対策については、各漁協と協力し、稚魚放流事業を実施している。なお、委員会でも、有効な政策の検討を行っていく。

●有害鳥獣対策について

問 有害鳥獣対策について。

答 いろいろな市や町で有害鳥獣対策について研修してきた。成功したと言える市や町はまだないように思われる。昨年度は、SNSの利用を香川高専と共同研究できないか提案した。今年も他市への研修や、猟友会との意見交換会を踏まえて、何らかの提案をしようとしている。市民の皆さんからの提案もお聞かせいただきたい。

●道路・歩道等の整備要望等について

問 道の草刈りは年1回程度である

が、危険であり、2回と言わず常に安全確保をお願いしたい。

答 費用の関係から年1回程度となっているようである。危険な箇所について、通行に支障がある場合は随時対応しているので、担当課に相談していただきたい。

問 通学路の整備について。

答 個別の案件については担当課に確認していただきたい。危険な通学路については、確認し、担当課に議会としても要望する。

緊急性の高いところから実施している。

問 高瀬駅の駅舎を移動して市役所から駅裏へ道を抜けないか。

答 旧町時代からの懸案であり、市庁舎周辺整備も含め検討したい。

問 マリンウェーブで会議が開かれた時、帰りに混雑して困るので、会場を変えるか道路の整備をしてほしい。

答 三豊市全体計画の中で議論したい。

問 建設工事の計画について、どのようなになっているのか。緊急性のある箇所についてはどうしているか。カーブミラーをもう少し設置できないか。

有害鳥獣対策事業一覧

区分	事業名	補助率	対象者	備考
侵入防止柵	被害対策用ネット等設置事業 (戸別柵)	1/2 (上限10万円)	市民	市民が市内の農地に設置する場合のみ対象
	被害対策用ネット等設置事業 (受益個数2戸以上)	2/3 (上限30万円)	市民	2戸以上で一体的に整備する場合のみ対象
	地域ぐるみ鳥獣被害対策事業	10/10 (上限100万円)	中山間取組組織 多面的機能取組組織 自治会	地域ぐるみで「集落柵設置」「捕獲又は追い払い活動」「勉強会」の3項目に取り組む組織が対象
	鳥獣害防止総合対策事業	定額	地域協議会 地域協議会構成員	受益戸数3戸以上で一体的に取り組み、費用対効果が見込める場合のみ対象 柵と同時にICTを利用した捕獲罠の導入が条件
捕獲	イノシシ等捕獲奨励金	10,000円/頭	有害鳥獣捕獲従事者 捕獲実施隊員	イノシシ・ニホンザル等を通年を通じて有害捕獲した個体
	アライグマ等捕獲謝礼金	3,000円/頭	アライグマ等防除従事者 有害鳥獣捕獲従事者	
	カラス捕獲謝礼金	700円/羽	有害鳥獣捕獲従事者 捕獲実施隊員	
農具	駆除用農具購入補助事業	1/2	有害鳥獣捕獲従事者 捕獲実施隊員	はこ畝：単年度上限補助額 100,000円 くくり畝：単年度上限補助額 40,000円
	鳥獣害防止総合対策事業	1/2	地域協議会 地域協議会構成員	協議会で購入、有害鳥獣捕獲従事者に配布

※地域協議会 市・JA・猟友会・西讃農業改良普及センター・農業共済組合で組織する協議会
 ※捕獲実施隊員 狩猟免許を有し被害防止施策に取り組む実施隊に参加する者

いか。

答 自治会からの要望に基づき、カーブミラーを含め緊急性の高いところから実施している。公平に実施されているか、議会としても監視したい。

問 水路の改修について。雨量が多いため、地元負担を少なくして改修してほしい。

答 土地改良事業については地元負担が必要で、大きな負担は課題である。防災目的と営農目的との間に公共事業が介在する余地については、今後の検討材料とさせてほしい。なお、本年度より土地改良単県事業の市補助率をアップした。

●ため池の整備および管理について

問 ため池の管理について伺う。池の管理が昔みたいに出ていない。池を空にしての改修などが出来ていない。池の管理を自治会長が行っているが、管理が出来ていないので大変危険になっている。どう思うか。

答 耕作者が少なくなったため池の管理は大変になっている。水利権については軽々しく言えないが、受益がなく危険なため池については、貯

水機能を廃止するなどの事業がある。

●住宅リフォーム補助金制度について

問 住宅リフォームの補助金制度の、昨年までの実績と本年度の募集内容について伺う。

答 3年間の実績は、利用者数937件、事業者数180件、補助金交付額は1億6,323万円、市内事業者の施工費総額は約14億6千万円である。3年で終了する予定であったが、議会の要請により1年延期された。29年度は当初予算が2千万円で、約100件分となっている。



●空き家対策について

問 空き家対策制度について。代執行なのか持ち主が自分の家を壊すときに補助を出すのか。

答 空き家の管理は原則所有者であるが、公共の福祉に影響を及ぼす場合には市が対策を講ずる必要がある。空き家対策については、さまざまな制度があるので、個別の案件については担当課にご相談いただきたい。

民生常任委員会

●人権擁護委員候補者の推薦

問 人権擁護委員の不同意はなぜか。

答 人権擁護委員法により、市長が選考し、議会の同意を得たうえで法務局に推薦し、法務大臣が委嘱する流れで決定する。今回は賛成少数（賛成10、反対11）で不同意という結果となった。個人の意見を述べる場ではないので、ご理解いただきたい。

●バイオマス資源化センターみとよについて

問 施設の見学はできるのか。バイオマスごみ施設を三豊市のPRに活用できないのか。

答 民間事業者で視察受入基準を策定し、6月から受け入れをしている。4人以上の団体から、視察可能である。曜日や時間帯が決まっているので、環境衛生課へお問い合わせいただきたい。

民間のエコマスター社により順調に運営がスタートしている。全国初の施設であり、PRを考えるよう働きかける。

●竹資源利活用について

問 竹林対策はどうなっているのか。今後の展開は。

答 三豊市がやっているのは可能性調査であり、事業化は民間企業が取り組み、採算性も含め検討中である。

●火葬場について



▲北部火葬場障害物撤去工事の様子

問 北部火葬場用地の地下から出てきた物体は何か。当時の事業者に処分させるべきではないのか。

答 大きなコンクリート片が出て、補正が必要となった。合併前の公共事業であり時間が経過しすぎているため指摘のようにはできなかった。

問 北部火葬場のエネルギーは何か。

答 エネルギーは灯油である。

問 南部火葬場の外構庭園が当初の目的通りの維持管理ができていない。専門業者に管理させることはできないか。

答 専門業者の維持管理を検討する。現場状況を確認し、適正に管理するようにする。

問 高瀬斎場は閉鎖されるのか。

答 来年、北部火葬場が完成すれば高瀬火葬場は閉鎖する。

●旧ごみ処理跡地について

問 どうなるのか。

答 地元自治会のアンケート結果では、自然の山に返すこととなっている。

●議会からの要請書の環境問題について

問 3Rとは何か。

答 3Rとは、リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）の頭文字のRをとって3Rと表現している。

●不法投棄について

問 県道の余幅部分に不法投棄がある。一斉清掃のとき回収車両が来て

いたが来なくなった。また、車両停車によるゴミ捨てがあり、駐車できないように要望できないか。

答 不法投棄が頻繁な所は、不法投棄パトロールを強化する。一斉清掃時は、地区衛生から収集運搬業者に依頼しており、塵芥車で収集している。県道余幅部なので、県へ担当課より要望する。

●肥料の成分について

問 瀬戸グリーンセンターで製造される肥料に有害物質（ヒ素）が含まれるという話を聞くが、どうなのか。

答 肥料取締法に基づき分析検査を年4回実施しており、12年度の生産開始以来、基準値内となっている。

●集落排水について

問 大浜地区の集落排水は処理費用が他の地域に比べて安いから見直すとのことだが、我々はその時かなりの金額を負担している。

答 下水道（集落排水、市設置型合併処理浄化槽）の使用料については、人頭制と人槽制が混在している状態である。合併前から、各町で積算方法と使用料等がそれぞれ違っており、

合併後速やかに使用料金を統一すると合併協定で決められていた。合併後10年を経過した今でも、各地区の使用料は統一されておらず、同一サービス・同一料金ということが望ましいので、集落排水、市設置型合併処理浄化槽すべてに対して従量制使用料の導入に向けて調査・検討している。

●医療費について

問 医療費のハガキは医療費削減を目的に通知しているのか。

答 確認と健康管理に役立てていただき、また医療機関から国保への請求が適正に行われるよう促すものである。

問 公共施設の使用料を無料化し、高齢者の使用が増加すれば医療費削減に効果があると思うが。

答 公共施設を生涯学習や運動等で利用することは大切である。施設の維持管理には受益者負担の原則もあり、検討と協議は必要である。

●特別養護老人ホーム優楽荘内の保育所について

問 保育所の運営形態は。
答 企業主導型保育事業所で定員19

名である。

●敬老会について

問 補助が、年々下がっているが、将来どう運用していくのか。

答 合併時に3,000円からスタートした。24年度から毎年200円下げて28年度には2,000円になっている。今後下げる予定は無いと聞いている。

●高齢者福祉タクシー券について

問 一部をバスチケットや温泉券に替えて支給してはどうか。

答 温泉券やバスチケットに転用できないか、市民の声として伝える。

●介護保険待機者について

問 介護職を増やす対策、また買い物支援について伺う。

答 介護職員初任者研修補助事業があり、市内に住所を有し、研修終了後市内の介護事業所に就労している者に4万円を上限に補助することで確保に努めている。買物支援については要件を満たせば、介護保険の訪問型サービスで対応可能である。移動販売等は今後の検討課題である。

●高齢者福祉について

問 高齢者増加に伴う対策も積極的
に取り組んでほしい。

答 高齢者が住み慣れた地域で安心
して暮らし続けられるように高齢者
福祉施策にしっかりと取り組む。

●保育料について

問 幼稚園無償化反対。無償にする
のはなぜか。出生率が上がる見通し
があるのか。子どもを育てるのは親
の責任ではないのか。実施時期と予
算は。

答 国に先んじて無償化を実施した。
三豊市は「子育てするなら三豊が一
番」としている。人口減少対策も含
め、子育て世代の負担を軽減する。
無償化は29年度から実施し、給食費
などは個人負担となる。予算は幼稚
園約5,000万円、保育所約4,
900万円である。

問 保育所の保育料は無償化できな
いのか。また保育所の保育料が安く
なることで、若い女性が三豊に住ん
でくれるよう期待する。

答 保育料の無償化は難しいが、8
階層すべてではないが、県内他市の
中で一番低い水準になっている。若

い世代が三豊市を選んでいただける
よう検討していく。

●保育士について

問 幼稚園の正規職員と臨時職員の
比率を伺う。正職を増やすようにし
てほしい。

答 幼稚園については、3分の1以
上臨時職員を配置できない規定に
なっている。保育所は臨時職員の割
合に規定がない。

問 民営と公営では保育士の待遇や
保育内容にも格差が出るのでは。

答 公立の保育士は本人希望で民間
に移っている。民営化は保護者、地
域の了解のもと行う。公営と民営の
格差がないように努める。

●大野小学校跡地の就学前教育施設
について

問 就学前教育は大切で、早くして
ほしい。山本町の就学前教育施設に
附帯決議が付き整備が停滞してい
るのはなぜか。どういう理由か。

答 山本地区の就学前教育施設の設
計業務予算に議論が必要と附帯決議
が付いた。今後は就学前教育がより
良い方向に進むよう、議会と執行部

で方向性を十分議論し平成32年4月
開園目指し、進めていきたい。



▲旧大野小学校現在の様子

●高瀬地域子育て支援センターについて

問 建て替えるのか。

答 まだ何も決まっていない。継続
審査中である。

永康病院調査特別委員会

●永康病院について

問 永康病院の建て替えと位置、規
模や組織について、三豊総合病院も
ある中で、市内の2つの公営病院は
中途半端ではないのか。一カ所にて

きないか。

答 市議会としては、永康病院調査
特別委員会を平成28年12月に立ち上
げ、この委員会の中で協議している
状況である。

問 永康病院はいろいろな選択肢が
あると思うが、無くすことにはな
らないのか。荘内半島から病院まで
の距離があり、救急の場合一分一秒
を争うこともあると思われるが、必
要ないという議論にはなっていない
のか。

答 将来的に詫間にある永康病院を
三豊市の病院としてはどのような形
がベストであるのかということをし、
永康病院調査特別委員会の中で協議
をしている段階である。

永康病院については、現在の病床
数は一般92、精神59、療養48、と
なっており、現在、永康病院調査特
別委員会の中で、将来的に永康病院
の今後を、どのようにしていくかを
検討している。今後は基本計画・構
想の報告を受けたり、自治体病院経
営に精通している城西大学の伊関
友伸先生を招へいし、三豊市議会の
議員研修会を開催するなど、委員会
としても自治体病院の勉強を重ねて

いく。永康病院については、年末までにはいくつかの方向性が出せるよう、特別委員会の中で協議をしている段階であり、ご理解いただきたい。



▲永康病院

議会運営委員会

問 5月15日開催の臨時議会について何が協議されたのか。

答 北部火葬場の追加予算と副市長と教育長の人事案件。副市長に小野英樹さん・教育長に岡根淳二さんが就任した。

問 市議会報告会の周知は、防災無線だけでなく、工夫を凝らした方がいいのではないかと。続けてもらわないといけない。

答 自治会長には通知をした。ご指摘有難うございました。

問 市議会と市長で意見の対立や派閥はあるのか。

答 意見が違う場合も、一緒の場合もある。市民の安心・安全を考えたそれぞれの意見である。

問 三豊市議会に会派はいくつあるのか。意見を集約するためにも、考えていただいていると思うが、無駄なことに時間を費やしていないかと思う。少子高齢化社会で地域としても、子どもたちとの触れ合い等、意見を出し考えながら生活している。まだ、旧町、ばらばらに活動されているように見える。市民のためにも皆さんの力を合わせて協力して取り組んでいただきたい。

答 6会派ある。公明党、社民党を除き、保守系が4会派ある。市議会は個人でなく議会としての意思を反映できる場所である。保守系4会派のことへの発言かと思う。議会としての意思判断が大事になる。会派を

越えて、いろんな議論、ご意見を噛みしめながら、努めてまいりたい。

問 持ち帰って検討するとの返事、回答はいつどこですてくれるのか。

答 議会、およびホームページにて回答する。

議会広報委員会

問 議会ホームページで議会報告会や本会議を見られるのはいいいが、委員会報告がない。もう少し、有効に使ってほしい。

答 開かれた議会ということから、議員の政務活動費等については、ホームページに載せていく。ホームページ更新については今は少ないが、頻繁にしようと話している。もう少し時間がほしい。期待に添えるかは分からないが、できるだけ現在にあったものを作っていくとしていく。



議会報告会を終えて

一人でも多くの方に参加していただきたく始めました旧小学校区単位26カ所での議会報告会も2年目を迎え、今年は520人を超える市民の皆さまにご参加いただきました。たくさんのご参加ありがとうございました。各会場では、昨年同様たくさんのご意見やご要望などをいただき、市民の皆さまの熱い思いを感じさせていただきました。今後、議会として、頂戴したご意見やご要望などを、担当の委員会で調査研究し、整理したうえで、市民の皆さまにご報告をさせていただきます。さらに、市政に反映すべき事項については、政策提言できるように取り組んでまいります。

今回の議会報告会の開催時間や報告内容などにつきましてのご意見やご提言を真摯に受け止め、今後一人でも多くの皆さまにご参加いただけるよう改善していきたいと思っております。



議会報告会へのご意見・ご要望など

●無回答 60代

やや手抜き印象。各委員会からの説明項目だけでも作るべきではと思う。A4を1枚で十分できると思う。

●女性 60代

永康病院の件、市民全体に公平になる立地条件をという意見があり、出席者の方々の意見に改めて市政に目を向ける必要性を感じました。貴重な機会を与えていただき感謝です。

●男性 70代

公民館等の会場の使用は、地域の集いの場です。交流やふれあいの場は必要である。使用料は無料が望ましい。

●女性 40代

小学校や幼稚園がなくなることは地元住民にとって本当に淋しいことなのだと感じた。それを踏まえて今後の教育行政に反映させていかなければならないと思う。

●無回答 70代

午後7時開催がいいと思います。三豊市の状況がよく分かり、議員さんと直接対話ができ、議会報告会はいい企画だと思います。

●女性 80歳

初めて参加させていただきました。皆様、活発な意見を発表されていて、関心を持っておられることに感じ入り、自分の無関心を恥じ入りました。知りたいことをよく聞かせていただきました。

●男性 70代

小学校が各町で1カ所に集合しているが、果たして統一することによって経費削減になっているのか？ほとんどの学校で耐震化された後、新しく大きな学校を建てスクールバスも運行している。今までの施設で続けた場合と新しく建てた場合の収支を出してほしい。子どもの運動量も減っている。

●男性 60代

議会だよりだけでなく、独自の資料があればよいと思う。時間が長いということは、市民が行政等に不満・疑問が多いということなので、報告会としてはよいことである。

●男 60代

自主防災組織編成に関する手引書的なものがあればよいのでは。議会だよりP7

「1. 防災対策の強化」に関して、各自治会がばらばらに進まないような（内容・進捗率等）文書をホームページに載せていただければありがたい。

●女性 80歳以上

参加者の数にびっくりしました。会の中身が大切だとは思いますが、男女共同参画推進から考え、少し淋しい感じがします。もう少し意欲的に取り組めないものだろうか。一町民として反省しなければと思います。私自身は参加してよかったと思っています。こういう催しは時々持ってほしいと思っています。

～議会報告会アンケートから抜粋して紹介しています～



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になります

委員 岩田 秀樹
委員 詫間 政司
委員 金子 辰男
委員 大平 敏弘
委員 為広 員史
副委員長 市川 洋介
委員長 込山 文吉

議会広報委員会

開かれた議会を目指し、本年度も昨年度に引き続き、市内の旧小学校区26カ所で議会報告会を開催させていただきますました。昨年度より若干、参加人数は減少しましたが、たくさんの方の声を聞き、皆さんの生の声をお聞きすることができました。市民と共に行行政に生かすことができることを目指して、委員一同取り組んでまいります。

編集後記



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。



発行・編集

三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1

TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.kagawa.jp